

## 市民及び事業所アンケート（案）



## ごみの減量化や資源化等に関する 市民アンケート調査(案)

市民の皆様には、平素から小松島市の環境行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、ごみの減量化や資源化、生活排水の適正処理についての長期的・総合的視点に立った基本方針である「小松島市一般廃棄物処理基本計画」の改訂に向けて作業を進めています。

ごみ排出量の削減等については、市民の皆様のご協力が欠かせないことから、ごみの減量化やリサイクルの取り組み状況などについて貴重なご意見をお聞きし、計画改訂にあたっての基礎資料とさせていただくため、アンケート調査を実施することとなりました。

なお、本調査は、市内にお住まいの18歳以上の方から1,900人を無作為に選ばせていただいております。ご記入いただいた調査票は統計情報として処理しますので、個人が特定されることや本調査の目的以外に使用することは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年8月

小松島市

### アンケートご記入にあたってのお願い

- ご回答は、ご本人(お送りした封筒のあて名の方)がご記入ください。  
また、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方や介助者の方が本人のお考えを聞きながらご記入ください。
- ご回答は、令和6年8月1日現在の状況をご記入ください。
- 各質問項目は、あてはまる番号を○で囲むか、回答欄に回答を記入してください。  
「その他」を選択する場合は、「その他」の番号を○で囲み、  
( )内になるべく具体的な内容をご記入ください。
- 選択する答えの数は、「1つに○」「3つまで○」「全てに○」など選び方が指定されていますのでご注意ください。
- ご記入後は、調査票を同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、  
令和6年○月○日(○)までにご投函ください。

### 【アンケート調査についてのお問い合わせ先】

小松島市市民環境部市民環境課 環境・公害担当

住所:〒773-8501 小松島市横須町1番1号

電話:0885-32-2147

FAX:0885-33-2234



## 2. ごみの減量化や資源化についてお伺いします。

問7 あなたは、ごみの減量化や資源化について関心をお持ちですか。(1つに○)

1. (非常に)関心がある
2. ある程度(どちらかといえば)関心がある
3. どちらとも言えない(わからない)
4. あまり(どちらかといえば)関心がない
5. (まったく)関心がない

問8 問7で「4. あまり関心がない」または「5. 関心がない」を選んだ方にお伺いします。  
関心がないと答えた理由は次のどれですか？(2つまで○)

1. ごみの減量化や資源化に協力するのが面倒だから
2. ごみの減量化や資源化を行う意義がわからないから
3. ごみは燃やせばいいと思うから
4. ライフスタイルを変えたくないから
5. 自分一人が努力しても影響がないと思うから
6. ごみの減量化や資源化は行政や事業所が取り組むことだから
7. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問9 あなたのご家庭では、現在よりごみを減らすことができますか。(1つに○)

1. たくさん減らすことができると思う
2. 少しなら減らすことができると思う
3. どちらとも言えない(わからない)
4. これ以上減らすことは難しいと思う
5. 減らす必要性を感じない

問10 あなたのご家庭では、ごみを少なくする配慮やリサイクルを実施していますか。(1つに○)

1. (いつも)実施している
2. ある程度(どちらかといえば)実施している
3. どちらとも言えない(わからない)
4. あまり(どちらかといえば)実施していない
5. (まったく)実施していない

問11 あなたのご家庭では、電気式生ごみ処理機や生ごみ処理容器(コンポスト)、生ごみ分解型処理容器(キエーロ)を使用していますか。(1つに○)

1. 現在使用している
2. 以前は使用していたが、現在は使用していない
3. どちらとも言えない(わからない)
4. 現在は使用していないが、今後は使用したい
5. 使用したことがないが、今後も使用するつもりはない

問12 あなたは、市が電気式生ごみ処理機や生ごみ処理容器(コンポスト)、生ごみ分解型処理容器(キエーロ)の購入に対し、補助を行っていることを知っていますか。(1つに○)

1. 知っていて、(補助制度を)利用した
2. 知っていて、(補助制度を)利用したいと考えている
3. 知っているが、(補助制度を)利用するつもりはない
4. 知らなかったが、(補助制度を)今後利用したい
5. 知らなかったが、(補助制度を)今後も利用するつもりはない

問13 あなたのご家庭における、1回あたりのごみ排出量はどれぐらいですか。

ごみ種別	1回あたりの使用枚数			
燃やせるごみ	大( )枚	レジ袋式大( )枚	小( )枚	特小( )枚
廃プラスチック類	大( )枚	小( )枚	特小( )枚	
ペットボトル	大( )枚	小( )枚	特小( )枚	
金属・空き缶類	大( )枚	小( )枚	特小( )枚	
びん・ガラス類	小( )枚	特小( )枚		

問14 あなたは、市が行っている家庭ごみの収集回数について、どのように感じていますか。  
また、あなたのご家庭における、ごみの排出頻度はどの程度ですか。  
(それぞれ最もよくあてはまる番号1つに○)

	ごみの収集回数				ごみの排出回数			
	多い	ちょうど良い	少ない	わからない	毎回	ほぼ毎回	※半分程度	わからない
燃やせるごみ(週2回)	1	2	3	4	1	2	3	4
廃プラスチック類(月2~3回)	1	2	3	4	1	2	3	4
ペットボトル(月2~3回)	1	2	3	4	1	2	3	4
金属・空き缶類(月2~3回)	1	2	3	4	1	2	3	4
びん・ガラス類(月2~3回)	1	2	3	4	1	2	3	4
新聞(月1回)	1	2	3	4	1	2	3	4
雑誌(月1回)	1	2	3	4	1	2	3	4
段ボール(月1回)	1	2	3	4	1	2	3	4
粗大ごみ(年6回 申し込み制)	1	2	3	4	1	2	3	4

※ごみの排出回数が半分程度とは、収集回数に対する頻度が半数程度という意味です。

問15 ごみや資源の集積所において、お困りのことはありますか。  
(当てはまる番号全てに○)

1. 分別・曜日を守らない人がいる
2. 資源を持ち去る人がいる
3. ポイ捨てや不法投棄がある
4. カラスなどの動物によりごみが荒らされる
5. 集積所までの距離が遠い
6. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問16 市では、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、減量化及び資源化目標に向けてさまざまな施策に取り組んでいます。  
 これらの施策について知っていますか(認知度)。また、取り組み度合についてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

		認知度			取り組み度合			
		内容を 知っている	聞いた ことは 知らない があるが、	知らない	積極 的に してい る	した こと があ る	と考 えて いる 機 会 が あ ら ば、 し た い	く な い こ と が な い、 し た い
ごみの排出の抑制に向けた	生活系ごみの発生抑制に向けた啓発・情報提供を目的とした、ワークショップや講演会の開催・参加	1	2	3	1	2	3	4
	生ごみ分解型処理容器(キエーロ)実践講座の開催・参加	1	2	3	1	2	3	4
	小松島市オリジナルのフードポストの設置・利用	1	2	3	1	2	3	4
	飲食店等への紙製のテイクボックスの配布	1	2	3	/	/	/	/
	食品ロスについての啓発活動などを行う「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」へ市が参加	1	2	3	/	/	/	/
	「雑がみ」の分別を、積極的に行っていただくため、「雑がみ保管袋」を配布・活用	1	2	3	1	2	3	4
	「こまつしまごみ分別アプリ」の配信・活用	1	2	3	1	2	3	4
再利用・再資源化の促進	「エコステーション」の試験的な設置・利用	1	2	3	1	2	3	4
	「衣類回収ボックス」の設置・利用	1	2	3	1	2	3	4
	「ハブラシ回収ボックス」の設置・利用	1	2	3	1	2	3	4
	「ペットボトルキャップ回収箱」の設置・利用	1	2	3	1	2	3	4
	日常生活における環境問題や食品ロス削減、エシカル消費推進等への気づきを目的とした「ちりつもすごろく」のホームページ上での配布・利用	1	2	3	1	2	3	4
	小学1～6年生のすべての児童を対象とした、各小学校に「ちりつもすごろく」の配布	1	2	3	/	/	/	/
	「ボトルtoボトル」水平リサイクルに関して、サントリーグループと令和5年3月24日に協定を締結	1	2	3	/	/	/	/
ごみ資源の適正の処理及び	勝浦町と広域処理を行うことを決定し、新ごみ処理施設整備について検討中	1	2	3	/	/	/	/
	「小松島市ごみ処理施設整備基本構想」を令和6年2月に策定	1	2	3	/	/	/	/
	「小松島市地球温暖化対策実行計画」を令和6年3月に改訂	1	2	3	/	/	/	/
災害廃棄物対策及び	ホームページ等で不法投棄禁止の意識啓発や情報提供を実施	1	2	3	/	/	/	/
	小松島警察署と共同名義で不法投棄禁止について啓発看板を配布	1	2	3	/	/	/	/
	「小松島市災害廃棄物処理計画」を平成29年3月に策定	1	2	3	/	/	/	/

問17 問16で、取り組み度合の「4. したことがない、したくない」を選択した方にその理由をお伺いします。(それぞれの項目に、自由に記載してください。)

		理 由
ごみの排出抑制に向けた取組の推進	生活系ごみの発生抑制に向けた啓発・情報提供を目的とした、ワークショップや講演会への参加	
	生ごみ分解型処理容器(キエーロ)実践講座への参加	
	小松島市オリジナルのフードポストの利用	
	「雑がみ」の分別を、積極的に行うため、「雑がみ保管袋」を活用	
	「こまつしまごみ分別アプリ」の活用	
再利用・再資源化の促進	「エコステーション」の利用	
	「衣類回収ボックス」の利用	
	「ハブラシ回収ボックス」の利用	
	「ペットボトルキャップ回収箱」の利用	
	日常生活における環境問題や食品ロス削減、エシカル消費推進等への気づきを目的とした「ちりつもすごろく」の利用	

問18 あなたが、ごみの減量化や資源化の取り組みにあたって感じている問題点は何ですか。  
(当てはまる番号全てに○)

1. ごみの分別方法がわかりにくい
2. ごみの減量化や再資源化の取り組み内容がわからない
3. ごみの減量化や再資源化に手間がかかる
4. 特にない
5. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問19 現状の分別方法や収集運搬体制に不満・要望はありますか。(1つに○)

1. (非常に)不満・要望がある
2. ある程度(どちらかといえば)不満・要望がある
3. どちらとも言えない(わからない)
4. あまり(どちらかといえば)不満・要望がない
5. (まったく)不満・要望がない

問20 問19で、「1. (非常に)不満・要望がある」または「2. ある程度(どちらかといえば)不満・要望がある」を選択した方にお伺いします。その理由を教えてください。  
(当てはまる番号全てに○)

1. 金属を含んだ廃プラスチック製品の分別がわからない
2. ペットボトルと廃プラスチック類の分別がわからない
3. 粗大ごみの戸別収集回数が少ない
4. 粗大ごみの1回当たりの収集個数が少ない
5. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問21 あなたが、ごみの減量化や資源化に関して知りたい情報はありますか。  
(当てはまる番号3つまで○)

1. ごみの出し方や分別方法
2. 食品ロスの削減など、家庭でできる減量化や資源化の方法
3. 資源ごみ回収の対象品目や回収場所等
4. ごみ処理に関する問い合わせ先や相談窓口
5. フリーマーケット、バザー、講演会、セミナー等の開催のお知らせ
6. ごみの減量化や資源化の取り組み効果及び他自治体と比較した小松島市の状況
7. 特にない
8. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問22 ごみの減量化や資源化を推進するためには、市はどのような取り組みを行うべきだと思いますか。(当てはまる番号3つまで○)

1. 生活系ごみの適正排出や分別に関する指導の徹底
2. プラスチックごみの削減やレジ袋有料化など、民間事業所の積極的な取り組みをPR
3. フリーマーケット、バザー、講演会、セミナー等の開催
4. 学校等での環境教育
5. 資源ごみ回収運動の推進
6. 生ごみ処理機等の購入や資源ごみ回収運動に対する助成の拡充
7. 公共施設におけるごみ減量化の推進
8. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

### 3. 新しいごみ処理施設整備についてお伺いします。

問23 本市では、現在のごみ処理施設の更新整備を計画しており、焼却しないごみ処理方式を採用することとしています。本市で新たに採用する「ごみ燃料化施設(好気性発酵乾燥方式)」は、香川県三豊市で導入しているトンネルコンポスト施設と同様の処理方式ですが、この処理方法を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らなかった

問24 問23で「1. 知っている」を選択した方にお伺いします。この処理方式の以下の特徴のうち知っているものは次のうちどれですか。(当てはまる番号全てに○)

1. ごみをごみ自体の発酵による発熱により乾燥し、固形燃料にする処理方式である
2. ごみの発酵は、完全密封されたコンクリートの室内で行われるため、発酵時の臭気が外部にもれることはない
3. 固形燃料は、プラスチック、紙、木のみでできており、製紙工場などで広く使うことのできるものである
4. ごみを燃やさず、燃料も使用しないため、排ガスの出ない施設である
5. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

#### 4. 生活排水に関する家庭での取り組みについてお伺いします。

問25 あなたのご家庭の生活排水は、現在どのように処理されていますか。(1つに○)

1. 合併処理浄化槽
2. みなし浄化槽(し尿のみを処理する単独処理浄化槽)
3. 地域下水道など下水道以外の汚水処理施設
4. 処理していない(し尿は汲み取り)
5. わからない

問26 問25で、「2. みなし浄化槽」を選択した方にお伺いします。

合併処理浄化槽への転換を推奨していることを知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らなかった

問27 問25で、「2. みなし浄化槽」を選択した方にお伺いします。

合併処理浄化槽への転換を進めるために、どのような方法が有効であると考えますか。  
(1つに○)

1. 市のホームページや広報誌等での呼びかけを行う
2. 市が環境に関するイベント等において啓発活動を行う
3. 合併処理浄化槽の補助金を増やす
4. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問28 公共の水域を保全するために、あなたのご家庭での日常生活において取り組めると言うことは何ですか。(当てはまる番号全てに○)

1. お風呂の水は洗濯用として再利用する
2. 洗剤は適切な量を使用する
3. 使用済みの天ぷら油を台所の排水口に流さない
4. 野菜くずなどの生ごみは三角コーナーに集め、台所の排水口に流さない
5. 浄化槽の適切な管理を行う
6. みなし浄化槽から合併処理浄化槽に転換する
7. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

ごみの減量化や資源化、生活排水処理について、ご意見があればご記入ください。

以上でアンケートは終わりです。  
ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、  
**令和6年〇月〇日(〇)までにご投函ください。**

## ごみの減量化や資源化等に関する 事業所アンケート調査(案)

事業者の皆様には、平素から小松島市の環境行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、ごみの減量化や資源化についての長期的・総合的視点に立った基本方針である「小松島市一般廃棄物処理基本計画」の改訂に向けて作業を進めています。

ごみ排出量の削減等については、事業者の皆様のご協力が欠かせないことから、ごみの減量化や資源化の取り組み状況などについて貴重なご意見をお聞きし、計画改訂にあたっての基礎資料とさせていただくため、アンケート調査を実施することとなりました。

なお、本調査は、市内に所在する100事業所を無作為に選ばせていただいております。ご記入いただいた調査票は統計情報として処理しますので、個々の調査票が公表されることや本調査の目的以外に使用することは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年8月

小松島市

### アンケートご記入にあたってのお願い

1. 本社・本店等ではなく、この調査票が届いた事務所・店舗等でご記入ください。  
貴事業所内のどなたがご回答いただいても結構ですが、回答者個人ではなく、「事業所として」記入いただけるようご配慮ください。
2. ご回答は、**令和6年8月1日現在**の状況をご記入ください。
3. 各質問項目は、あてはまる番号を○で囲むか、回答欄に回答を記入してください。  
「その他」を選択する場合は、「その他」の番号を○で囲み、  
( )内になるべく具体的な内容をご記入ください。
4. 選択する答えの数は、「1つに○」「3つまで○」「全てに○」など選び方が指定されていますのでご注意ください。
5. ご記入後は、調査票を同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、  
**令和6年○月○日(○)まで**にご投函ください。

### 【アンケート調査についてのお問い合わせ先】

小松島市市民環境部市民環境課 環境・公害担当  
住所:〒773-8501 小松島市横須町1番1号  
電話:0885-32-2147  
FAX:0885-33-2234

## 1. 貴事業所についてお伺いします。

問1 貴事業所の従業員数についてお答えください。(1つに○)

- |           |             |             |           |
|-----------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 1~4人   | 2. 5~9人     | 3. 10~29人   | 4. 30~49人 |
| 5. 50~99人 | 6. 100~299人 | 7. 300~499人 | 8. 500人以上 |

問2 貴事業所の業種についてお答えください。(1つに○)

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 農業、林業        | 2. 漁業                 |
| 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 4. 建設業                |
| 5. 製造業          | 6. 電気・ガス・熱供給・水道業      |
| 7. 情報通信業        | 8. 運輸業、郵便業            |
| 9. 卸売業、小売業      | 10. 金融業、保険業           |
| 11. 不動産業、物品賃貸業  | 12. 学術研究、専門・技術サービス業   |
| 13. 宿泊業、飲食サービス業 | 14. 生活関連サービス業、娯楽業     |
| 15. 教育・学習支援業    | 16. 医療・福祉             |
| 17. 複合サービス      | 18. サービス業(他に分類されない業種) |

問3 貴事業所の所有形態についてお答えください。(1つに○)

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| 1. 自社またはグループ所有      | 2. 賃貸・テナント |
| 3. その他(具体的に: _____) |            |

問4 貴事業所の住居併設についてお答えください。(1つに○)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 併設している | 2. 併設していない |
|-----------|------------|

問5 貴事業所の所在地についてお答えください。(1つに○)

- |          |         |         |          |           |
|----------|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 小松島町  | 2. 神田瀬町 | 3. 松島町  | 4. 堀川町   | 5. 南小松島町  |
| 6. 横須町   | 7. 金磯町  | 8. 田野町  | 9. 芝生町   | 10. 日開野町  |
| 11. 新居見町 | 12. 田浦町 | 13. 前原町 | 14. 江田町  | 15. 中田町   |
| 16. 中郷町  | 17. 立江町 | 18. 楡渕町 | 19. 豊浦町  | 20. 和田津開町 |
| 21. 赤石町  | 22. 大林町 | 23. 坂野町 | 24. 間新田町 | 25. 和田島町  |

## 2. ごみの処理や資源化についてお伺いします。

- 問6 貴事業所で、廃棄物管理責任者(あるいは廃棄物処理担当者)を定めていますか。  
(1つに○)
1. 事業所内に定めている
  2. 本社(本部)に定めている
  3. 定めていない
- 問7 事業所から排出されるごみは、事業系一般廃棄物と産業廃棄物に分類され、それぞれ処理方法が異なります。事業系一般廃棄物と産業廃棄物の区別の違いをご存知ですか。  
(1つに○)
1. 知っている
  2. ある程度知っている
  3. あまり知らない
  4. 知らない
- 問8 事業・営業活動に伴って排出されるプラスチック類は、産業廃棄物として排出することをご存知ですか。(1つに○)
1. 知っている
  2. 知らない
- 問9 事業所から排出されるごみは、市は収集を行わず(家庭ごみの集積所には出さず)、事業所自らの責任で処理する必要があることをご存知ですか。(1つに○)
1. 知っている
  2. 知らない
- 問10 貴事業所で排出量が多いごみは何ですか。(重量を把握していない場合は、推測で結構です。)(当てはまる番号3つまで○)
1. 生ごみ
  2. 廃食用油
  3. 新聞・雑がみ
  4. 雑誌・書籍
  5. コピー用紙
  6. シュレッダー紙
  7. 段ボール
  8. その他の紙
  9. 布類
  10. びん
  11. 缶
  12. ペットボトル
  13. 発泡スチロールトレイ
  14. その他のプラスチック
  15. 小型家電製品
  16. 木くず・剪定くず
  17. 可燃性粗大ごみ
  18. 不燃ごみ・不燃性粗大ごみ
  19. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問11 貴事業所のごみ処理方法について、各品目の処理方法をお答えください。  
 (それぞれ最もよくあてはまる番号1つに○)

品目 処理方法	市環境衛生センターへ搬入	民間の処理施設へ搬入	業者に手数料を払って、一般廃棄物として処理	業者に手数料を払って、産業廃棄物として処理	業者に売却又は無償で引渡	自社で処理・資源化	家庭ごみ集積所を利用	スーパー等での店頭回収を利用	地域の集回収を利用	排出物そのものが出ない	その他(具体例を記入)
											記入例: 納入業者に返却
生ごみ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
廃食用油	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
新聞・雑がみ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
雑誌・書籍	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
コピー用紙	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
シュレッダー紙	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
段ボール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
その他の紙	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
布類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
びん	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
缶	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ペットボトル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
発泡スチロールトレイ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
その他のプラスチック	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
小型家電製品	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
木くず・剪定くず	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
可燃性粗大ごみ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
不燃ごみ・不燃性粗大ごみ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
その他の品目 ( )	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

問12 貴事業所におけるごみのリサイクル(資源化)について、各品目のリサイクル状況をお答えください。(それぞれ最もよくあてはまる番号1つに○)  
 なお、「3または4」を選んだ場合は、その理由をお答えください。

品目 処理方法	現在、 リサイクル を行っている	現在、 リサイクル する予定は ない	リ 以 サ 前 イ ク ル を や め た	リ 以 サ 前 イ ク ル に は し て は な か つ た	排 出 物 そ の の が 出 な い	わ か ら な い	以前、リサイクルしていたがリサイクルをやめた理由 または 以前、検討したがリサイクルには至らなかった理由
							記入例: 良いリサイクル方法が見つからなかった。
生ごみ	1	2	3	4	5	6	
廃食用油	1	2	3	4	5	6	
新聞・雑がみ	1	2	3	4	5	6	
雑誌・書籍	1	2	3	4	5	6	
コピー用紙	1	2	3	4	5	6	
シュレッダー紙	1	2	3	4	5	6	
段ボール	1	2	3	4	5	6	
その他の紙	1	2	3	4	5	6	
布類	1	2	3	4	5	6	
びん	1	2	3	4	5	6	
缶	1	2	3	4	5	6	
ペットボトル	1	2	3	4	5	6	
発泡スチロールトレイ	1	2	3	4	5	6	
その他のプラスチック	1	2	3	4	5	6	
小型家電製品	1	2	3	4	5	6	
木くず・剪定くず	1	2	3	4	5	6	
可燃性粗大ごみ	1	2	3	4	5	6	
不燃ごみ・不燃性粗大ごみ	1	2	3	4	5	6	
その他の品目 ( )	1	2	3	4	5	6	

### 3. ごみの減量化や資源化に関する事業所での取り組みについてお伺いします。

問13 貴事業所では、ごみの減量化や資源化にどの程度取り組んでいますか。(1つに○)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | 2. ある程度取り組んでいる |
| 3. あまり取り組んでいない | 4. 取り組んでいない    |

問14 問13で「1.」又は「2.」(取り組んでいる)を選んだ方にお伺いします。  
ごみの減量化や資源化に取り組む理由は何ですか。(2つまで○)

1. ごみ処理経費削減のため
2. 会社のイメージアップのため
3. 社会的責任のため
4. ごみの保管(スペース、悪臭)の問題解決のため
5. 会社・業界からの取り組み指示があったため
6. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問15 問13で「1.」又は「2.」(取り組んでいる)を選んだ方にお伺いします。  
貴事業所では、ごみの減量化や資源化に関して、どのような取り組みを行っていますか。  
(当てはまる番号全てに○)

1. レジ袋の有料化を行っている
2. 生ごみ処理機を導入している
3. 割りばしや使い捨てカップ・容器等の使い捨て製品を使わないようにしている
4. 簡易包装を実施している
5. 食べ残し、調理くずが少なくなるような工夫をしている
6. 繰り返し使用できる製品や、グリーン購入対象品を使用又は生産、販売している
7. 資源物の分別を徹底している
8. リースやレンタルを積極的に活用している
9. 店頭回収、資源回収ボックス等を設置している
10. 店頭回収、資源回収等を利用している
11. 適正な在庫管理を心がけている
12. 減量化・再資源化計画を作成している
13. 事業所の3Rへの取り組みを積極的にPRしている
14. 社員に対して、環境教育を行っている
15. 裏紙の利用(コピー用紙削減)を行っている
16. 修理やリフォームの案内に関する取り組みを行っている
17. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問16 市では、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、減量化及び資源化目標に向けてさまざまな施策に取り組んでいます。  
 これらの施策について知っていますか(認知度)。また、取り組み度合についてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

		認知度			取り組み度合			
		内容を知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	積極的にしている	したことがある	と機会があれば、したい	したくない、したことがない、した
ごみの排出の抑制に向けた取り組みの推進	食品ロス(手つかず食品・食べ残し)の解消	1	2	3	1	2	3	4
	耐久消費財等の長期使用の実施	1	2	3	1	2	3	4
	簡易包装等の推進	1	2	3	1	2	3	4
	事業所での生ごみの発生抑制・減量の推進	1	2	3	1	2	3	4
	3010(さんまるいちまる)運動の推進	1	2	3	1	2	3	4
	フードロス削減協力店への参加	1	2	3	1	2	3	4
	ごみの分別の徹底	1	2	3	1	2	3	4
再利用・再資源化の促進	地域におけるごみ分別の取り組み	1	2	3	1	2	3	4
	店頭回収の拡充	1	2	3	1	2	3	4
	各種イベントにおける啓発	1	2	3	1	2	3	4
	環境美化運動の推進	1	2	3	1	2	3	4
	処理困難物の適正処理の推進	1	2	3	1	2	3	4
	事業系ごみ(一般廃棄物)に関する適正処理の推進	1	2	3	1	2	3	4
不法投棄対策及び災害廃棄物対策	不法投棄に対する監視活動の強化	1	2	3				
	ホームページ等で不法投棄禁止の意識啓発や情報提供を実施	1	2	3				
	「小松島市災害廃棄物処理計画」を平成29年3月に策定	1	2	3				

問17 問16で、取り組み度合の「4. したことがない、したくない」を選択した方にその理由をお伺いします。(それぞれの項目に、自由に記載してください。)

		理 由
ごみの 取 組 出 の 抑 制 進 に 向 け た	食品ロス(手つかず食品・食べ残し)の解消	
	耐久消費財等の長期使用の実施	
	簡易包装等の推進	
	事業所での生ごみの発生抑制・減量の推進	
	3010(さんまるいちまる)運動の推進	
	フードロス削減協力店への参加	
	ごみの分別の徹底	
再 利 用 ・ 再 資 源 化 の 促 進	地域におけるごみ分別の取り組み	
	店頭回収の拡充	
	各種イベントにおける啓発	
	環境美化運動の推進	
	処理困難物の適正処理の推進	
	事業系ごみ(一般廃棄物)に関する 適正処理の推進	

問18 今後、特に減量化または資源化したいと考えているごみは何ですか。  
(当てはまる番号全てに○)

1. 生ごみ
3. 新聞・雑がみ
5. コピー用紙
7. 段ボール
8. その他の紙
9. 布類
10. びん
11. 缶
12. ペットボトル
13. 発泡スチロールトレイ
14. その他のプラスチック
15. 小型家電製品
16. 木くず・剪定くず
17. 可燃性粗大ごみ
18. 不燃ごみ・不燃性粗大ごみ
19. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問19 貴事業所で、ごみの減量化や資源化を進めていくうえでの問題点は何ですか。  
(当てはまる番号全てに○)

1. ごみの減量化や資源化を行う意義がわからない
2. ごみの減量化や資源化の方法がわからない
3. ごみの減量化や資源化を行うことに経済的なメリットが少ない
4. ごみの減量化や資源化を行うことに手間がかかる
5. 分別しても分けた資源の保管場所がない
6. ごみの減量化や資源化を行うほどのごみ量がない
7. ごみの減量化や資源化を行うための装置の設置場所が確保できない
8. 適当な資源回収業者が見当たらない
9. ごみの減量化や資源化を行うことに衛生上の問題がある
10. 本社に決定権があるため、資源化に関しても本社の指示に従うしかない
11. 従業員に対する分別の徹底やごみの減量に関する意識改革が難しい
12. 特に問題はない
13. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

ごみの減量化や資源化について、ご意見があればご記入ください。

以上でアンケートは終わりです。  
ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、  
**令和6年〇月〇日(〇)まで**にご投函ください。